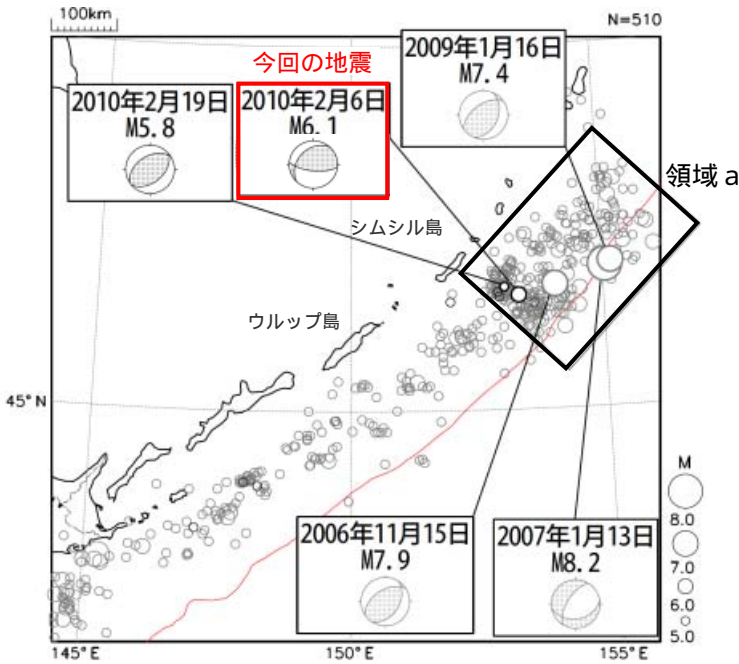


(その他の領域の地震)

2月6日 千島列島の地震

震央分布図

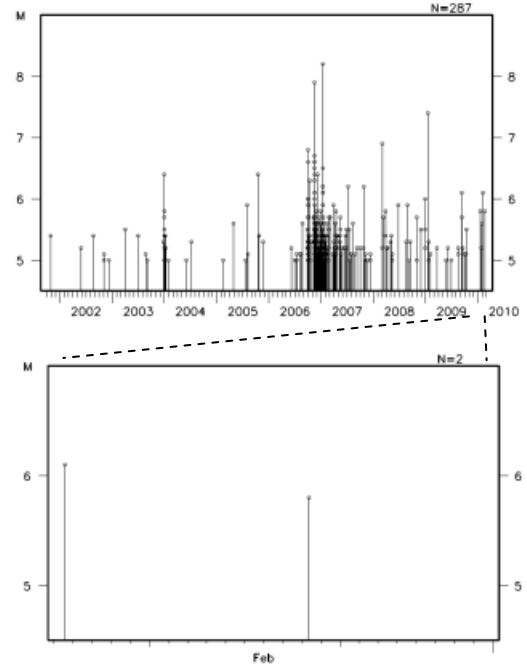
(2001年10月1日～2010年2月28日、深さ0～100km、M 5.0)
 2010年1月以降の地震を濃く表示、
 発震機構解はCMT解(今回の地震の発震機構のみGlobal CMTによる)。



2010年2月6日13時44分に千島列島でM6.1の地震が発生した。発震機構(Global CMT)は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ型であった。

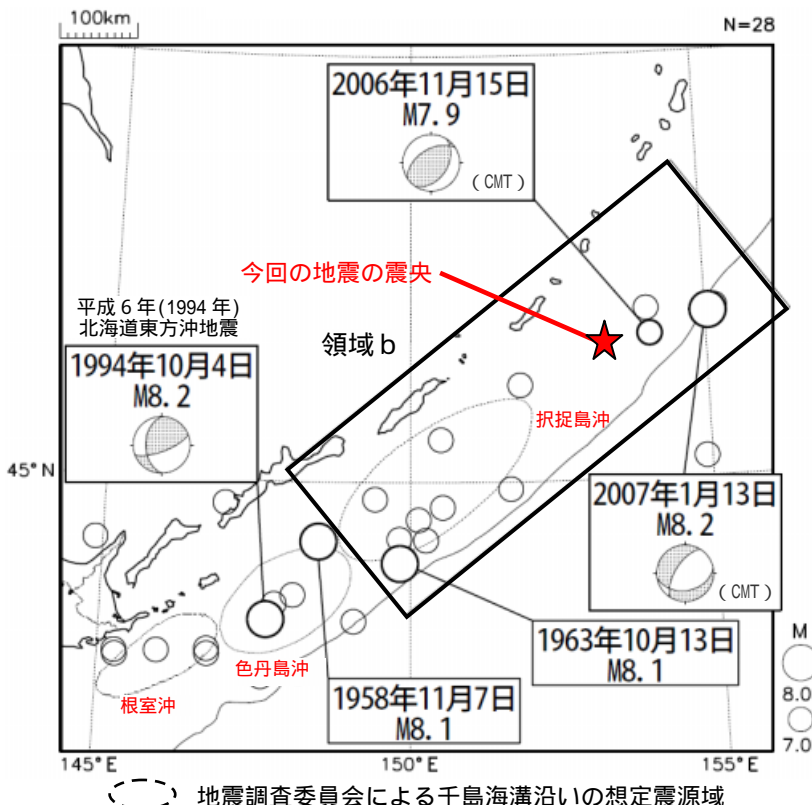
また、今回の地震の震央付近では、2月19日08時49分にもM5.8の地震が発生している。

領域 a 内の地震活動経過図



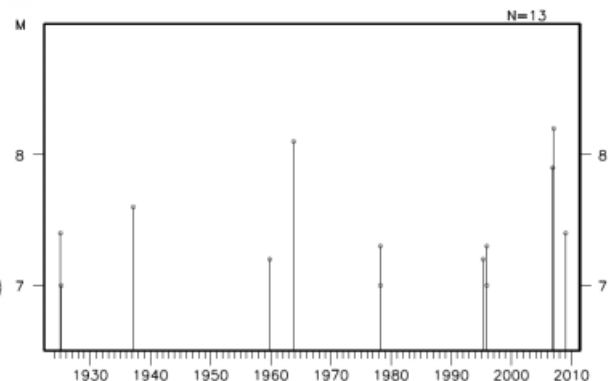
震央分布図

(1923年8月1日～2010年2月28日、深さ150km以浅、M 7.0)



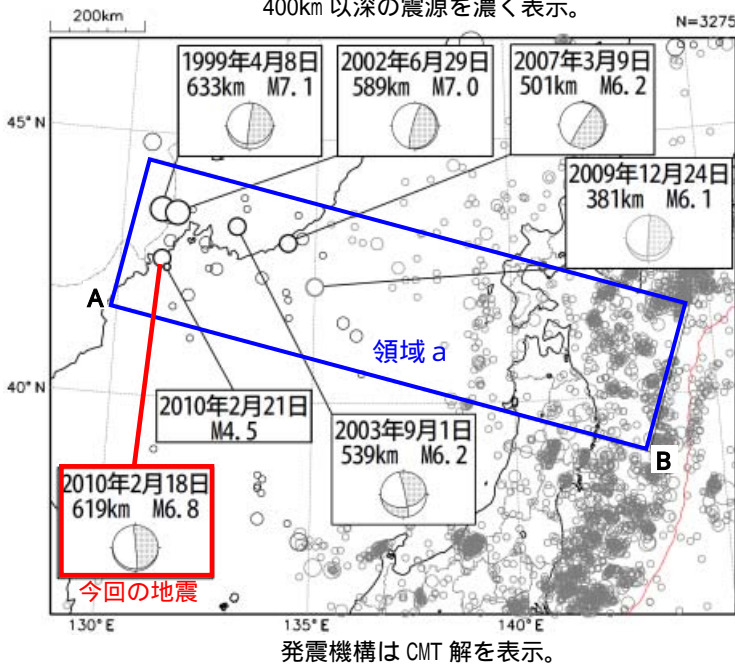
1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域 b)では、M7.0以上の地震が時々発生しており、最大は2007年1月13日のM8.2の地震(最大震度3)で、三宅島坪田で43cmの津波を観測するなど、日本の太平洋沿岸で津波が観測された。

領域 b 内の地震活動経過図

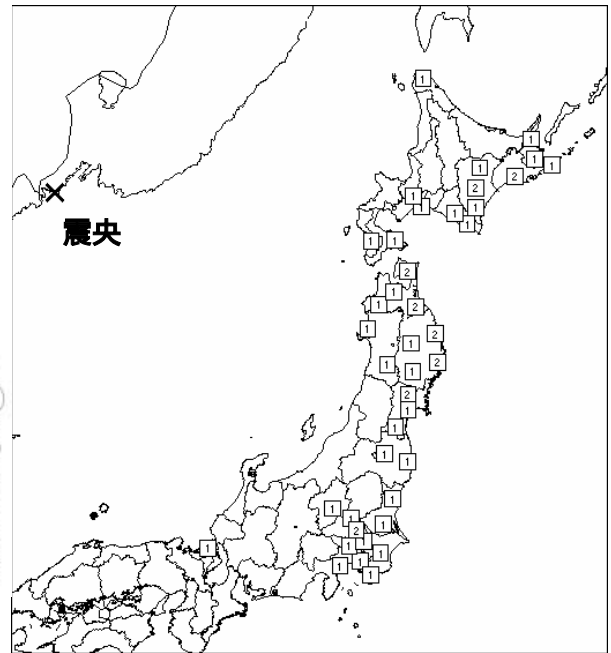


2月18日 ウラジオストク付近の地震

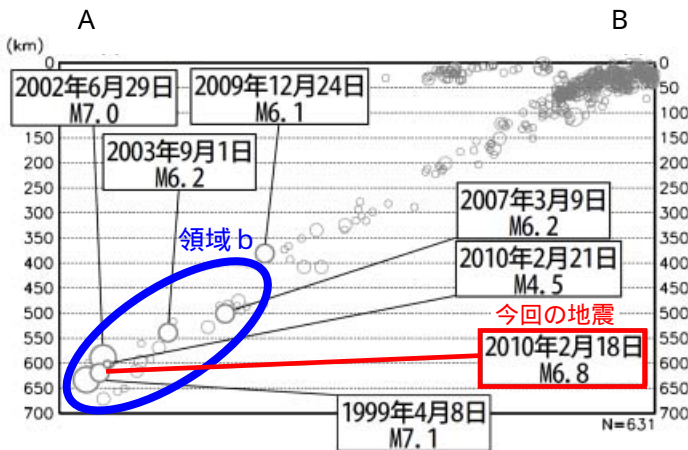
震央分布図 (1997年10月1日~2010年2月28日、
深さ0~700km、M 4.0)
400km以深の震源を濃く表示。



震度分布図 (地域震度)



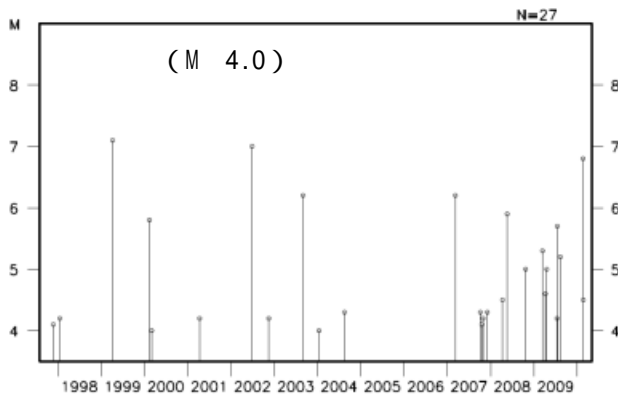
領域 a 内の断面図 (A - B 投影)



2010年2月18日10時13分にウラジオストク付近の深さ619kmでM6.8の地震(最大震度2)が発生した。発震機構(CMT解)は、プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した地震である。2月21日にはM4.5の余震が発生している。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M6.0を超える地震が時々発生している。最近では2007年3月9日にM6.2の地震(最大震度2)が発生している。

領域 b 内の地震活動経過図



今回のように太平洋プレートの深部で地震が発生した場合、地震波は太平洋プレートを効率的に伝わるため、震源に近い日本海側よりも太平洋プレートに近接した太平洋側で震度1以上の揺れを観測することがある(異常震域)。今回も同様な傾向が見られた。